事業者向け **放課後等デイサービス自己評価表**

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			段差はあるが、車いすの方も利用できるよう、スロープや手すり等を設置している。
業務改善	④	業務改善を進めるための、ＰＤＣＡサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		管理者が主体となり取り組めている。 PPCAサイクルの必要性をもう少し皆で考え習慣化させていきたい。
	⑤	保護者等向け評価票を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		保護者の意見を取り入れて行く。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後、実施予定。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			全職員の全体研修など行われている。 研修で学んだ事を現場で活かせるようにしていく。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者のニーズをその都度聞き、スタッフ間で共有している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			契約時にアセスメントの実施を行っている。また、年に1回保護者の方にニーズ表を配布し、回収後、ニーズの共有をしている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			会議で活動プログラム内容の充実に向けて密に連携を図る。
	⑫	活動プログラムを固定化しないよう工夫しているか	○			工夫はしているが、まだまだ少ない。今後プログラムを増やして行く。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		タイムスケジュールは設定している。 平日は来所時間が各自違う為、活動の時間が充分に取れない場合もある。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			昼礼や午後の話し合いを設けている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか		○		新たな気付きなどがある場合は、皆で考えたり、相談するようにしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			利用者について情報共有を行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか		○		
関係	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			送迎の際に、情報を得るようにしている。 学校との情報共有は行っている。急な変更など電話連絡などで細やかに行っている。

機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉒	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				該当者なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		直接的な提供は出来ていない。 相談員さんには、情報提供している。
	㉕	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			外部講師に来て頂き、研修会の実施を行っている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか	○			不定期ではあるが、公共施設を利用する事での関わりはある。熊放サークル（他事業所との交流）は参加している。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○		
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や送迎時のタイミングで話はしている。面談の時間をそれぞれもっても良いのではないか。 連絡帳のみではなく、送迎の際に一日の様子など話すようにしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			毎月、言語聴覚士やビジョントレーナーの先生と面談を実施している。療育に関する悩み相談の場として支援を行っている。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	㉜	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		セミナー・家族会等を実施している。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			事業所間での共有している。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○			
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域との交流が出来るイベントはしていない。法人内ではある。
非常時の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っているか	○			年1回、防災センターへ出かけ、訓練をしている。 また、事業所内でも避難訓練を実施している。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者からの情報のみで、医師の指示書はもらっていない。保護者の情報をもとに、クッキングの際には十分配慮している。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットがあった場合は、報告書を作成し法人への提出と全事業所間で共有している。